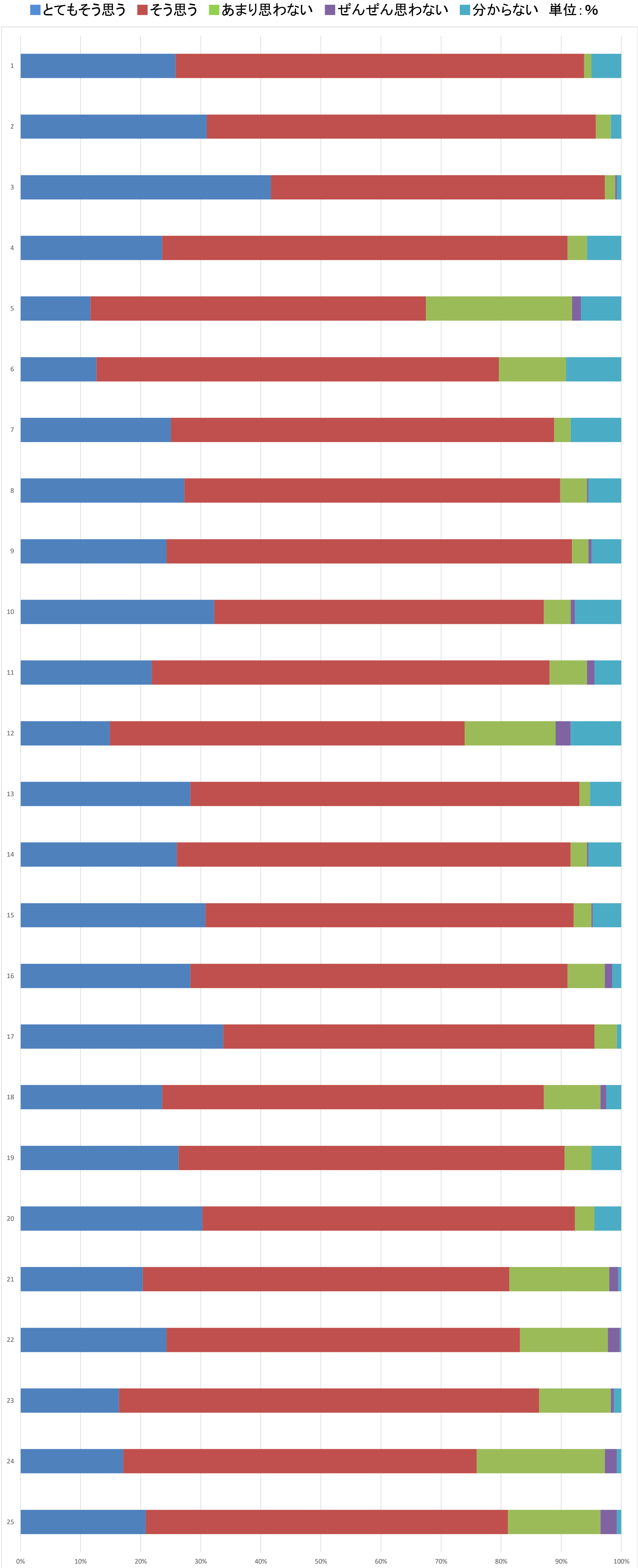


令和5年度 新宿区立四谷小学校 学校評価 保護者アンケート結果(後期) ※回答率82%

<質 問 項 目>		肯定的回答割合		
		R4後期	R5前期	今回
○前年度＋3ポイント以上 ▼前年度－3ポイント				
1	学校の教育目標・方針は子どもたちや地域の実態にあった適切な内容である。※知育・徳育・体育を重点とする教育目標や学年目標、指導の重点等	97.0	▼93.2	▼93.7
2	四谷小の子どもたちは仲よく生活しており、学校での様子は楽しそうである。	96.6	94.3	95.8
3	教職員は、誠実に子どもや保護者に接している。	93.2	95.7	○97.2
4	学校では道徳や全ての教育活動を通じて命を大切にすることや思いやりの心を育む指導に努めている。	91.7	▼86	91.0
5	四谷小の子どもたちはあいさつの習慣が身に付いている。	70.2	▼64.7	67.5
6	四谷小の子どもは思いやりの心や社会のルールを守る態度が身に付いている。	87.9	▼76.0	▼79.6
7	四谷小の子どもたちは、係や当番の仕事に進んで取り組んでいる。	95.8	▼86.9	▼88.8
8	四谷小の先生は、分かりやすい授業を行っていると思う。	90.6	89.0	89.8
9	四谷小の先生は、子供たちに基礎・基本の学力をつける指導に力を入れている。	92.1	▼87.8	91.8
10	四谷小は、タブレットPCなどを使って、子どもが「調べる」「まとめる」「伝え合う」授業をよく行っていると思う。	83.0	▼77.1	○87.1
11	授業中は話の聞き方、発表の仕方等の「学習のルール」が守られており、落ち着いた雰囲気の中で進められている。	83.8	82.5	○88
12	学校は、子供たちの体力向上や健康推進に積極的に取り組んでいる。	85.7	▼70.1	▼73.9
13	学校は災害の知識や身を守るための対処法などの自助の力や地域防災に協力・貢献する共助の力の育成につながる防災学習や防災活動を行っている。	96.2	▼86.3	▼93.1
14	学校は行事や特別活動(委員会活動、クラブ活動、異学年交流等)の活性化に努めている。	90.6	▼85.7	91.5
15	子どもにいじめやいじめの疑いがある時には、学校に相談することができる。(と思う。)	96.6	○95.3	▼92
16	学校の教室や施設には掃除が行き届き、安全で利用しやすく整備されている。	93.6	○92.0	91.1
17	各種授業参観、学校公開日は保護者、地域の方が参加しやすい設定になっている。	91.3	93.2	○95.5
18	学校は、日頃の教育活動の様子などについて、保護者会や学校だより、ホームページ等で分かりやすく伝えていていると思う。	86.4	85.9	87.1
19	学校は、学校外の専門家の人(警察・消防・福祉・水道・商店・スポーツ選手等)から学ぶ授業をよく行っていると思う。	83.4	81.7	○90.5
20	学校は、子どもが学校にかかわる地域の人(スマイルクラブの皆さん)と一緒に活動する機会をよくつづけていると思う。	91.3	88.6	○92.3
21	自分のこどもは、家庭学習の習慣が身に付き、継続させることができている。	75.1	○82.1	○81.3
22	自分のこどもは「早寝、早起き、朝ごはん」がしっかりとできている。	77.7	○82.1	○83.1
23	自分のこどもは、あいさつや場に応じた言葉づかいができている。	67.2	○81.3	○86.3
24	自分は、学校の配布物を確認し、持ち物・提出物の点検を行わせている。	80.0	▼79.2	▼75.9
25	家庭で、子どものゲームをする時間、携帯・スマホを含むネット環境にルールを作っている。	87.5	▼82.1	▼81.4



【保護者自由記述】

- ・行事を精選し土曜授業(行事)を減らしてほしい。土曜には習い事があるため。
- ・タブレット教育はとても良いと思いますが、動画見られてしまうのでどうしても勉強中に気になってしまうので改善していただけるとありがたいです。

【分析】

□「2」から四谷小学校に通う多くの児童が学校生活を楽しく過ごすことができていることが指摘できる。

□「3」から教職員は、誠実に子ども保護者に接していると答えた保護者が前年度より高まり、ほとんどの保護者が四谷小学校の教職員の対応に肯定的な印象を持っていることが分かる。

□「10」から、四谷小学校の児童がICTを活用して学ぶ習慣が身についてきていることが指摘できる。継続したい。

□「11」より、児童が授業規律を守りながら、学ぶことができていることが分かる。学校公開の際にそうした姿勢が発揮できるように指導を継続したい。

□「14」から前期よりも防災に関する授業を実施できていることが指摘できる。日々の安全指導に加え、防災教育にも力を入れていく。

□「17」より、授業参観や学校公開に保護者が参加しやすいと感じていることが分かる。引き続き家庭や地域に開かれた学校を目指したい。

□「19、20」から、学校がゲストティーチャーやスマイル活動に積極的に参加していることを保護者が肯定的にとらえていることが指摘できる。

□「21、22、23」より児童が前年度に比べて家庭学習に取り組み、あいさつや早寝早起きといった生活習慣が身についたことが読み取れる。積極的に家庭とも連携していきたい。

■「5」から四谷小の児童のあいさつに課題があることが指摘できる。学校や家庭において適切なあいさつの習慣を身につけさせていくよう指導を継続する必要がある。

■「6」より、思いやり規範意識を高める指導に力を入れ、児童が家庭や地域社会であっても社会通念に従って行動できるようにさせる必要がある。

■「7」より、学校内で児童が係や当番の仕事に責任をもって取り組めるように指導するとともに、児童自身が取り組んだいようから自己肯定感をもって家庭に帰ることができるように指導していくとよいと言える。

■「12」から、体力向上をさらに図る必要があることが指摘できる。スポーツテスト結果を鑑み、普段の体育の授業を充実させ、新宿ギネスにも積極的に取り組む環境を整備したい。

■配布物が正しく家庭に渡っていない様子が推察される。家庭への連絡を密にし、大切なお便りより多くの保護者のもとにいくように留意する必要がある。

■「25」からSNSについての指導は継続される必要があることが指摘できる。学校のタブレット端末の指導とともに行っていきたい。